

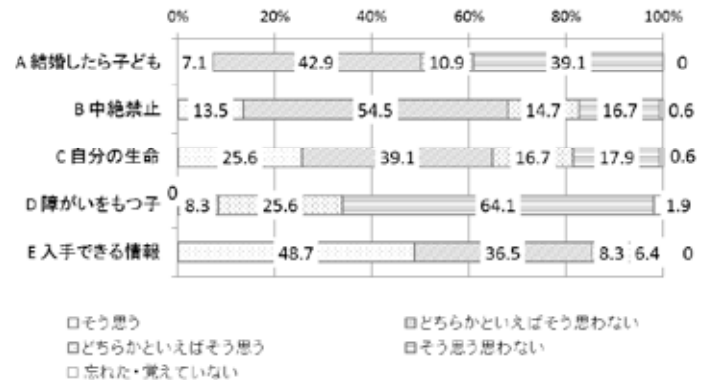
## F 妊娠・出産についての意見

## 妊娠・出産についての意見【医療機関】

「妊娠・出産についてあなたの意見をお聞かせください」という質問に、以下の5つの事項について、「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」「どちらかと言えばそう思わない」「そう思わない」の4つの選択肢から1つずつ選択してもらった。

「A 結婚したら子どもを持つのは当たり前」は、肯定と否定がほぼ半数であった。「B 中絶をしてはいけない」は、(そう思う+どちらかと言えばそう思う、の合計で)肯定が6割であった。「C 子どもをもてば自分の死後も自分の生命がつながっていく」は、6割が肯定していた。「D 障がいをもつ子を産むことは社会の不利益につながる」は、約9割が否定していた。「E 入手できる情報はできる限り知っておきたい」は、約8割が肯定していた。

図F-1 医療機関 妊娠・出産についての意見

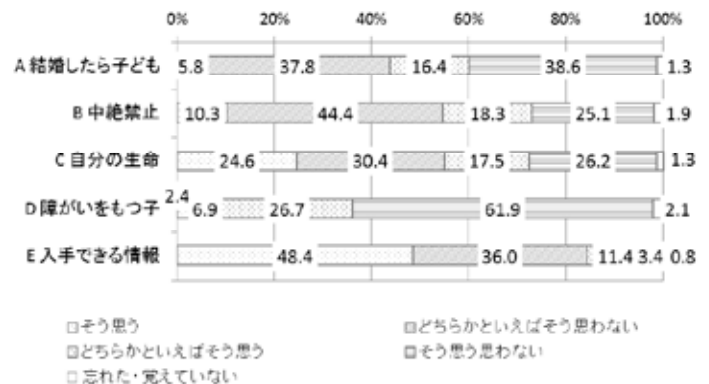


## 妊娠・出産についての意見【保育園】

「妊娠・出産についてあなたの意見をお聞かせください」という質問に、以下の5つの事項について、「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」「どちらかと言えばそう思わない」「そう思わない」の4つの選択肢から1つずつ選択してもらった。

「A 結婚したら子どもを持つのは当たり前」は、ほぼ半数だが、否定がやや多い。「B 中絶をしてはいけない」は、肯定と否定がほぼ半数となっている。「C 子どもをもてば自分の死後も自分の生命がつながっていく」は、6割近くが肯定していた。「D 障がいをもつ子を産むことは社会の不利益につながる」は、約9割が否定していた。「E 入手できる情報はできる限り知っておきたい」では、約8割が肯定していた。

図F-1 保育園 妊娠・出産についての意見



医療機関調査と保育園調査とは、同じような傾向であったが、「A 結婚したら子どもを持つのは当たり前」では、保育園調査の方がやや否定が多かった。また保育園調査の方が「中絶をしてはいけない」に同意した割合がやや高かった。この差については年齢や学歴、就業の有無との関連を検討したい。

妊娠経験や出生前検査の経験に、意識が影響しているかについても今後検討する。

## 情報収集のためのサイトや雑誌名

「妊娠・出産についての情報収集のためによく見た(妊婦向けの)サイトや雑誌名を教えてください。(正確にわからない場合は、キーワードなどでも結構です)」と尋ね、記述式で回答してもらった。

- 医療機関調査では、156名のうち32名が無回答、または「特になし」と回答した。記述のあった124名の内容は、「たまごクラブ/ひよこクラブ」が約50件、その略称である「たまひよ」が約20件、両方を合わせると約70件と多かった(雑誌かwebサイトかの区分はしていない)。webサイト上の口コミサイト「ウイメンズパーク」も約30件あった。これらはすべて、ベネッセコーポレーションが出版・運営している。「ベネッセ」と会社名だけの記入も散見された。
- その他には「Premo」や、「妊すぐ」「赤すぐ」などの記述があった。これらは、雑誌とwebサイトがあるが、これらのどちらを見ているか、特定できる記述とそうでない記述があった。また、雑誌やサイトを特定せずに、時期や関心に応じて検索してヒットしたところを見ていくという回答も10件ほどあった。
- 保育園調査では、378名のうち75名が無回答、または「特になし」と回答した。記述のあった303名の内容は、「たまごクラブ/ひよこクラブ」140件程度、「たまひよ」約90件、「ウイメンズパーク」約60件となっており、医療機関調査と同じくベネッセ関連の雑誌やサイトが多くの人に利用されている。また、『はじめての妊娠・出産』等の書籍なども挙げられていた。
- 多くの回答者が、雑誌やサイト名のみを記述しているが、中には雑誌やインターネットの情報を見ないわけではないが、妊娠出産の経験者や友人等の話(口コミ)をより重視しているという意見もあった。これらの傾向がどのように変化しているのかについては、今後、詳細に検討したい。

## 医療者や病院・医療のシステムについての意見【2つの調査の共通点】

最後に、「あなたの妊娠などのご経験から、医療者や病院・医療のシステムなどについてご意見、ご感想があればお聞かせください」と自由記述で回答してもらった。

- 医療機関調査では、81名からの回答があった。うち「特になし」などの回答を除いた75名からの回答を検討した。保育園調査では、216名からの回答があった。うち「特になし」などの回答を除いた208名からの回答を検討した。
- 医療機関調査、保育園調査に共通して、記述された内容を分類すると、医療者(医師、助産師、看護師、医療スタッフなど)の対応についての言及、医療施設(病院、産院、助産所など)の記述が最も多く、質問に対応した回答がなされていた。
- 医療施設について記述された内容としては、医療施設の選び方、近所に出産できる医療施設が少ないこと、そのために予約を妊娠初期にしなければならなかったことなどが多かった。出産方法の希望と実際の出産経験(良かったこと、良くなかったことの両方)についての記述も少なくなかった。医療費についてや、妊婦健診や出産時に上の子どもを連れていける・預けることのできる場所についての要望もあった。母乳育児の指導やマッサージをしてくれるところが欲しい、家族立会での出産がしたいなどの要望があったことも、共通していた。
- 医療者の対応について記述された内容としては、医療情報とその説明不足に対する要望、妊娠中や出産時の不安の内容とその対応への要望などが多かった。ただし、医療者や医療施設の対応によって安心したこととそれへの感謝についての記述も少なくなかった。
- 医療者や医療施設、医療システムについての「情報」と「説明」に関する記述も多くあった。そのうち、妊産婦が求めている情報の質や、医療者からの情報提供はあったがその説明が不十分であるという内容が、詳細に記述されていた回答がいくつかあった。また、情報だけではなく、医療者に「質問ができる雰囲気してほしい」、「相談したい」、「話を聞いてほしい」といった要望もいくつか記入されていた。

## 医療者や病院・医療のシステムについての意見【2つの調査の相違点】

- 医療機関調査と保育園調査を比較すると、つぎのような違いがみられた。
- 医療機関調査では、医療施設の規模や形態（大学病院、総合病院、病院、産院、助産院など）について記述した回答の件数が多い傾向にあったが、保育園調査では、医療施設の規模や形態よりも、医療者（医師、助産師、看護師、医療スタッフなど）について記述した回答の件数が多い傾向にあった。
- 医療機関調査の回答の方が、医療機関の選び方、出産の形態についてのこだわり（自然出産、より自然に近い出産など）、妊娠・出産に関わる医療技術の進歩について慎重・懐疑的な回答が多い傾向にあった。これは医療機関調査において質問紙の配布に協力いただいた施設を選んだ人たちの傾向が反映していると推察できる。
- 出生前検査についての記述では、医療機関調査よりも保育園調査の方が「出生前検査」や「高齢妊娠／高齢出産」、「子どもの障害・疾患・異常」、「不妊治療」等に言及していた回答が多かった。これは、回答者の妊娠年齢や回答時の年齢の違いが影響していると推察できる。